

# 平成26年度 胎内市社会科部 活動報告

部長 五十嵐 俊一

## 1 研究主題

地域教材を効果的に活用し、社会的思考力を高める授業のあり方

## 2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 中条小学校 16:00～ 参加者15人

(2) 第2回部会 「地域巡検」 会場 いちごカンパニー・日立産機システム中条営業所  
9:30～ 参加者12人

### ① いちごカンパニー株式会社

- ・ 講師 五十嵐 松一 様
- ・ 概要

完全閉鎖型植物工場におけるいちご栽培の事業説明をいただいた。今後の産業学習や廃校利用のモデル事業としても先進的な取組を学ぶ機会となった。

### ② 日立産機システム中条営業所

- ・ 講師 瀧山 学 様
- ・ 概要

自然エネルギー事業の現状と今後の展望について説明をいただいた。太陽光発電、風力発電施設を見学し、仕組みについて具体的に学ぶことができた。



(3) 第3回部会 「授業研究会」 会場 乙中学校 14:00～ 参加者：14人

- ① 授業者 新井 達夫 (乙中学校)
- ② 指導者 榎田 博之 様 (新潟県教育庁下越教育事務所学校支援第2課 課長)
- ③ 単元名 第3学年「住民として地方の政治を考えよう」
- ④ 概要

胎内市で行っている「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」を教材として、同和教育の視点に立った社会科授業を提案した。身元調査と部落差別のつながりに弱さがあったが、地方の政治の具体を地域の制度から考え、とらえさせていくことができる点において、提案性のある授業であった。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

地域巡検では、先進的な産業と自然エネルギーについて学習できた。今後の社会科学習につながる内容であったため、会員も興味をもって参加することができた。また、授業研究会では、小中学校の先生方が地域教材の活用をテーマに、協議できたことは大変有意義であった。さらに、本時の授業についてだけでなく、「社会科授業で大切にすべきこと」「同和教育と社会科」というテーマでご指導をいただいたことは、その考え方やそれぞれの社会科授業を振り返るよい機会とすることができた。

### (2) 課題

授業研究会において、指導案検討会を位置付け、授業のあり方や考え方を事前に話し合った上で授業公開および協議会があると、より学びが深まると考える。